



伊豆の国市から、医療・福祉・介護に携わる皆様と共有したい情報を発信します。

COVID-19感染症拡大防止のため、急きょ、中止や延期となる可能性もあります。
各種会議等の開催については、各主催者にお問い合わせ下さい。

10月のイベント



今月の1枚

9月の「世界アルツハイマー月間」に合わせ、中央図書館で特別展示を実施して頂いた今月の1枚です。

図書館を利用する人に対して、認知症をテーマにした書籍を通じて、アルツハイマー病等の認知症への理解を深めてもらうことを目的に展示をお願いしたものです。

市では、認知症サポーター養成講座の開催や認知症に関するリーフレットの配布、広報9月号等を通じて認知症への理解を呼びかけさせていただきました。

2025年には高齢者の5人にひとりが認知症になるという統計もあります。

認知症への理解が進むよう市でも努めてまいりますので、ご協力をお願いいたします。

インフォメーション

● 新型コロナウイルスワクチン接種に関する情報

「オミクロン株対応ワクチン接種」が始まります。

○接種対象者

12歳以上で、初回接種(1・2回目)を完了した人

○接種券

・すでに未使用の3・4回目接種券がある人は、お手元の接種券をご利用ください。

・3~5回目の接種券がない人は、10月上旬から順次、最終接種から最低5か月が経過した頃を目安に発送されます。

○使用するワクチン

・ファイザー社製ワクチン(オミクロン対応)⇒12歳以上

・モデルナ社製ワクチン(オミクロン対応)⇒18歳以上

※初回接種(1・2回目)には、オミクロン株対応ワクチンは使用できません。

健康づくり課 ☎055-957-0028



日	時間	イベント名	場所	主催
13	16:00 17:00	相談支援事業所部会	大仁庁舎 第3会議室	障がい福祉課 0558-76-8007
木	内容	事例検討		参加 不可
15	10:00 12:30	第18回市民ふれあい広場	葦山福祉・ 保健センター	社会福祉課 0558-76-8036
土	内容	表彰式、ステージによる福祉啓発、参加団体コーナーによる健康・福祉啓発、他		参加 歓迎
17	19:00 20:00	医療と福祉の多職種勉強会	Zoom/ 大仁庁舎 第3会議室	伊豆保健医療センター 0558-76-0111
月	内容	災害時に誰も取り残さないまちづくり		参加 歓迎
18~	体操教室 開催時間内	地区健康講座(転倒予防)	体操教室 会場各所	相談センター 0558-76-8010
火~	内容	理学療法士より転ばない体づくりの話と効果的な体操について		参加 要予約
18	14:30 16:30	認知症地域支援推進員連絡会/ 認知症初期集中支援チーム員会議	大仁庁舎 第1会議室	相談センター 0558-76-8010
火	内容	認知症施策について/対象者の選定、支援の評価・計画、困難事例への助言		参加 不可
19	16:00 17:00	いづっち訪問看護ステーション 連絡会	大仁庁舎2階 第1会議室	相談センター 0558-76-8010
水	内容	2市1町の訪問看護ステーションの現状と課題について		参加 不可
20	13:30 15:00	地域包括支援センター主催 事例検討会	葦山福祉・ 保健センター	地域包括支援センター 055-949-9213
木	内容	「金銭的にサービス導入や支援が困難であり、家族の協力も得られないケースについて」の事例研究		参加 要予約
20	17:30 18:30	看看連携推進事業 ここいきサポートネットワーク会議	オンライン (Webex)	NTT東日本伊豆病院 055-978-2322
木	内容	食べ続けるための歯科知識		参加 要予約
27	16:00 17:00	相談支援事業所部会	大仁庁舎 第3会議室	障がい福祉課 0558-76-8007
木	内容	就労系担当者連絡会		参加 不可
27	19:00 20:30	第一層協議体	葦山福祉・ 保健センター	相談センター 0558-76-8010
木	内容	第1層、第2層圏域活動報告 移動支援について		参加 資料入手可
29	13:00 16:00	2022伊豆健康フォーラム	長岡総合会 館 大ホール	伊豆保健医療センター 0558-76-0111
土	内容	第1部「伊豆保健医療センターの在宅医療」 第2部「希望する人生をまっとうするために」		参加 歓迎



会議名	地域づくり会議		
日時	2022/9/22	場所	順天堂大学病院 Zoomミーティング
参加者	163名	順天堂大学医学部附属静岡病院（病棟・外来看護師、リハ室PT、入退院支援室・医療福祉相談室看護師、MSWなど） 地域の多職種（医師、訪問Ns、MSW、CM、地域包括等）	
内容	事例検討を通して 多職種介入のタイミングを振り返る		
<p>順天堂大学医学部附属静岡病院 入退院支援室小林看護師より事例発表をいただき、多職種介入のタイミング、病状を予測したサポートの在り方、患者の社会背景から見える事を振り返りました。</p> <p>また、事例に関連した「がん治療センター内での連携」「外来スクリーニングの現状」「ヤングケアラーの実態」「家族看護」など様々な発表もあり、盛りだくさんな内容でした。</p> <p>短い会議時間ではありましたが、時間と共に急速に進むご本人様の病状とその家族の状況の変化に支援者としてどう寄り添う支援・伴走支援ができたのだろうか、また、亡くなった後のご家族の支援はどのようなことができるだろうと考えさせられました。</p>			
担当	沖出		

実施名	認知症サポーター養成講座		
日時	9月	場所	あやめ会館・大仁庁舎 葦山福祉・保健センター
参加者	40名	市民、大仁警察署職員、市役所職員、ALSOK職員等（市内3か所で開催）	
内容	認知症の正しい知識を持ち、その家族も見守る支援者となる		
<p>9月のアルツハイマー月間に合わせて、市内3か所で認知症サポーター養成を実施しました。</p> <p>前年より多くの参加者の受講がありました。認知症は身近な病気であり、自分事として思ってくださいの方が増えている結果ではないかと感じております。</p> <p>また、「日程が合わなかったが他の日はあるか?」「家族にも聞いてほしいのだが、また講座はあるか?」等の問い合わせもいただいております。</p> <p>認知症について学びたい方が、講座を受講できる機会が増えるよう、検討していきたいと思っております。</p> <p>また、出張講座も行っておりますので、ご相談ください。</p>			
担当	芦澤		

会議名	相談支援事業所部会		
日時	2022/9/9	場所	大仁庁舎 第3会議室
参加者	13名	市内相談支援事業所	
内容	クレーム対応研修		
<p>講師に長泉カウンセリング研究会 代表 梶山 和彦先生をお招きし、「クレーム対応研修」を行いました。</p> <p>クレームがあっても極端に怖がらず、冷静に対応し、「クレームを、ポジティブに考える」ことがサービスの改善やチャンスにつながります。</p> <p>また、日頃から利用者やその家族・関係する事業所と円滑なコミュニケーションを図り、「何かあったときは、一緒に考えよう」という関係づくりをしていくことが大切です。</p>			
担当	山田		

会議名	壮年塾期が活躍する、いきいき長寿社会づくり事業 ワークショップ		
日時	2022/9/26	場所	サンパレー富士見 第3ホール
参加者	11名	壮年塾期ワークショップ参加者	
内容	壮年塾期が活躍するいきいき長寿社会をつくるための ワークショップ（第1回）		
<p>大妻女子大学や獨協医科大学で講師等を務める齋藤宏子先生を講師に迎え、壮年塾期が活躍する、いきいき長寿社会をつくるにはどのような活動をしていけばよいのかを考えるワークショップ（第1回）を開催しました。</p> <p>66歳から76歳の壮年塾期の方が活躍する、活躍できる長寿社会にするため、今後も開催いたしますので興味のある方は参加をお願いします。</p>			
担当	杉山		



FMいずのくに ラジオ番組

病院と！みんなの談話室 ～毎週金曜日12時～12時30分放送～

伊豆の国市提供によるFMいずのくにのラジオ番組『病院と！みんなの談話室』が、7月8日より毎週金曜日の12時～12時30分で放送されています。

『病院と！みんなの談話室』は、伊豆保健医療センターの協力により伊豆保健医療センターのスタッフと地域の皆さんとの対話を通じて、医療や健康に関する身近な情報をお届けしております。

地域の皆さんがご自身とご家族と地域のしあわせ・健康について考える地域住民参加型のラジオ番組になっています。

是非、お昼のひと時にラジオをFM伊豆の国（87.7MHz）に合わせ、

『病院と！みんなの談話室』を聞いてください。

ラジオがお手元がない場合は、スマートフォンでも聞くことができます。アプリの

『Radimo』をダウンロード（無料）して、局一覧から東海のFMいずのくにを選択すれば聞くことができます。アプリ内課金もありません。

※毎週火曜日17時30分～18時にも11日前の再放送がされています。

The flyer features a group photo of the staff and community members at the top. Below the photo, it provides details about the program, including the frequency (87.7MHz) and the availability of a mobile app. It also includes QR codes for downloading the app and a list of participating staff members.